

全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子の策定に伴う パブリックコメントの実施結果について

1 概要

本市では、これまでの100年を振り返り、次の100年により豊かな環境をつないでいくきっかけとなり、全国へ川崎のみどりを発信するため、市制100周年を迎える令和6年度の全国都市緑化フェアの開催に向け、取り組んでおります。

この度、かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組やかわさきフェアの開催に関する行催事等計画を示した「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子（案）」について、市民の皆様から御意見を募集いたしました。

その結果、16通（意見総数24件）の御意見をいただきましたので、御意見の内容とそれに対する市の考え方を次のとおり公表いたします。

2 意見募集の概要

題名	「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子（案）」に関する意見募集
意見の募集期間	令和3年11月22日（月）から令和3年12月21日（火）まで
意見の提出方法	電子メール、FAX、郵送、持参
意見の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページへの掲載 ・市政だよりへの掲載 ・かわさき情報プラザ（川崎市役所第3庁舎2階）での閲覧 ・各区役所市政資料コーナーでの閲覧 ・市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課での閲覧 ・建設緑政局緑政部緑化フェア推進担当での閲覧
結果の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページへの掲載 ・かわさき情報プラザ（川崎市役所第3庁舎2階）での閲覧 ・各区役所市政資料コーナーでの閲覧 ・市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課での閲覧 ・建設緑政局緑政部緑化フェア推進担当での閲覧

3 結果の概要

意見提出数（意見件数）	16通（24件）
電子メール	15通（21件）
FAX	1通（3件）
郵送	0通（0件）
持参	0通（0件）

4 意見の概要と対応

「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子(案)」に対して、かわさきフェアに関する具体的な取組や開催会場に関する御意見などが寄せられました。

生物多様性の保全や観光分野との連携に関する御意見が寄せられたことを踏まえ、表現など一部加筆修正をするとともに、所要の整備を行った上で、「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子」を策定しました。

(1) 意見に対する本市の考え方の区分の説明

- A：意見を踏まえ、案を加筆・修正するもの
- B：案の趣旨に沿った意見であり、意見を踏まえ、取組を推進するもの
- C：意見を踏まえ、今後取組を進める中で参考とするもの
- D：案に対する質問・要望の意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E：その他(今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見)

(2) 意見の件数と対応区分

項目	A	B	C	D	E	計
1「第2章 かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組」に関する事	1	1	0	1	0	3
2「第3章 全国都市緑化かわさきフェア行催事等計画(骨子)」に関する事	1	5	12	1	0	19
3 その他の意見	0	0	0	0	2	2
合計	2	6	12	2	2	24

(3) 意見の概要と意見に対する本市の考え方

No.	意見の趣旨	意見に対する本市の考え方	区分
1 「第2章 かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組」に関すること (3件)			
1	<p>地域の遺伝子レベルでの生物多様性の攪乱を招かないような緑化を推進する計画としてほしい。「緑化」という行為には、在来の生物多様性を保全するという視点が必要不可欠である。</p> <p>基本計画骨子(案)では、そのような方針がほとんど見られない。緑化という行為には、生物多様性を攪乱してしまう危険性が少なからずあり、そのため、遺伝子レベルでの生物多様性保全も視野に入れた形で、「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子」を策定するよう、切にお願いする。</p>	<p>生物多様性の保全につきましては、豊かな自然がもたらす生物多様性を日常の中で捉えることが重要であるとともに、地域特性に合わない緑化は、地域本来の自然環境や文化、個性を失うことにもつながりかねないと認識しております。かわさきフェアにおいても、いただいた御意見を踏まえて、P15の【基本理念Ⅰ】—【課題認識】及び【取組方針】、P17の【基本理念Ⅲ】—【課題認識】に、生物多様性の保全に関する事項を、それぞれ追記いたしました。</p>	A
2	<p>市民が接するみどりは、公園が多いと思う。次の100年に向けて、緑豊かで手の行き届いた公園緑地にしてほしい。</p>	<p>公園緑地につきましては、P15の取組方針Ⅰに示すとおり、みんなが居心地よく活動できる空間の創出や、みどりの多様な効果が十分に発揮された質の高いみどりを取り入れる仕掛けづくりに取り組んでまいります。</p> <p>次の100年も、川崎に住みたい、暮らしたいと思われるよう、みどりの適正な保全、創出、育成及び活用を進めてまいります。</p>	B
3	<p>川崎駅周辺から富士見公園までの回遊性向上が示唆されているが、当該エリアにおいて懸念されるのは、落書きや歩道・中央分離帯の植栽帯へのゴミのポイ捨て、投棄により、街の美観が損なわれていることである。</p> <p>2024年に向けて、今から、落書きやゴミのポイ捨てを許さない強固な風土を構築していくため、一過性ではない、強力な施策や新たな取組を、全市をあげて展開していくことが必要である。</p>	<p>本市では、かわさきフェアの開催を契機として、誰もが暮らしやすく住み続けたいまちの実現を目指して、フェア開催前から、フェア開催以降につながる様々な取組を展開してきたと考えております。</p> <p>次の100年に向けて、川崎らしくより豊かな環境をつないでいけるよう、みどりを通じた、地域の課題解決に向けた取組を推進してまいります。</p>	D

2 「第3章 全国都市緑化かわさきフェア開催事等計画（骨子）」に関すること（19件）			
1	<p>緑化フェアでは、市外からも多くの方々が訪問されると思う。コア会場の集客だけでなく、緑化フェアをきっかけとして、市内の様々なみどりの名所にも足を伸ばしてもらい、川崎の良さを知ってもらう取組が大切ではないか。市内の観光資源を広く認知してもらうことは、地域愛を醸成する機会にもなるはずなので、事業計画の展開イメージに観光を位置付けるなど、具体的な取組内容が検討されることを期待する。</p>	<p>かわさきフェアにおける観光分野の取組につきましては、P18の【基本方針】エに示すとおり、これまで培ってきた本市の多様な強みを活かして、川崎のみどりが持つ多様なポテンシャルを発信するとともに、P42の(2)出展展示に示すとおり、本市の多様な地域資源を活かして、環境、教育、文化、歴史などの様々な分野と連携して、川崎の多様性あふれる魅力や強みを感じられる機会を創出していきたいと考えております。</p> <p>市民の皆様へ、よりわかりやすい表現とするため、御意見を踏まえて、P18の【基本方針】エに「観光資源」を、P42の(2)出展展示—【展開イメージ】に「観光」を、それぞれ追記いたしました。</p>	A
2	<p>全国都市緑化かわさきフェア開催誘致にご尽力いただきありがとうございます。緑化フェアは、これまで全国各地の主要都市で開催され、緑化啓蒙、緑化推進のみならず、それぞれの都市の魅力をアピールする場でもあると思っている。川崎市でも、訪れる方にまちの魅力も感じてもらえたらいいと思う。基本計画骨子を拝読し、いろいろな手法での開催に夢が膨らんでいる。開催に向けての準備は、これからが大変だと思うが、一市民として応援している。川崎にしかできない、これまでにない緑化フェアが実現、成功し、その後の緑を活かしたまちづくりへの意識高揚ができることを祈念している。</p>	<p>かわさきフェアでは、みどりが持つ多様なポテンシャルを効果的に活用し、これまで培ってきた川崎の強みや各地域の特色を活かしながら、「川崎らしいみどり」を全国に発信したいと考えております。</p>	B
3	<p>構想が具体的になってきて、特色のある緑化フェアになりそう。開催期間も、花の見頃にあわせて春と秋に開催されるので、きっと多くの方で盛り上がることでしょう。成功をお祈りしている。</p>		

4	「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」の活動について記載があったが、開催期間中に出店される飲食の食器などをリサイクル可能な素材にするなど、脱炭素に向けた新素材や最新技術を使った運営をすることで、「さすが川崎、最先端の技術を使っている」と来場者に感じていただけるのではないかと。	かわさきフェアにおける脱炭素の取組につきましては、P45の(8)飲食・物販に示すとおり、食品ロス対策や容器のリユース、リサイクルなどの取組を推進してまいります。また、P45の(7)交通輸送に示すとおり、温室効果ガスの抑制など環境負荷低減につながる交通輸送の展開を検討してまいります。	B
5	生田緑地については、向ヶ丘遊園跡地利用計画により設置される施設との相互連携や回遊性向上のための取組も行ってほしい。	生田緑地における回遊性向上につきましては、かわさきフェアの開催に向けて、周辺の各施設等と効果的な連携を図りながら取り組んでまいります。	B
6	各会場の最寄り駅から、無料送迎バスを出したほうが良いのではないかと。また、各会場内の移動手段として、レンタサイクル等を検討した方が良いのではないかと。	各会場への交通手段及び会場内の移動手段につきましては、P45の(7)交通輸送に示すとおり、公共交通機関の利用を前提としつつ、バス、電車、シェアリングサービス等の多様な交通手段と連携し、来場者の皆様の円滑な交通手段、移動手段の確保を検討してまいります。	B
7	広報宣伝について、開催決定後、市民や市内大手企業、各活動団体に対して、すぐに周知をしてほしい。開催までに市民が関心を寄せるまでの時間があるといい。また、小中高校生に対しては、学校に周知を手伝ってもらいたいと思いたい。	広報宣伝につきましては、P44の(5)広報宣伝に示すとおり、地域の様々な情報媒体やSNS等の利用など、市民、企業、各種団体などに幅広く浸透させるため、フェア開催前から、戦略的な広報宣伝を実施していきたいと考えております。	C
8	市のイベントが、気づいたら終わっていたことがたまにあるので、ポスターをいろんな場所に貼るなどしてほしい。	具体的な広報宣伝の方法等につきましては、いただいた御意見を参考に検討を進めてまいります。	

9	<p>生田緑地の中にあるばら苑は、川崎市が誇るスポットライト的存在と認識している。開催時期の令和6年10月中旬～11月上旬は、秋の一般公開時期と重なっているが、生田緑地ばら苑には、様々な問題が累積しており、本格的な整備がまだ行われていない状況である。</p> <p>昨年度、生田緑地マネジメント会議から川崎市に提出された提言書を参考に、フェアに向けた必要な整備をお願いする。ばら苑整備が完成し、フェアで多くの市民に楽しんでもらえれば、まさにレガシーとなるのではないかと。</p>	<p>生田緑地では、P33の生田緑地の取組イメージに示すとおり、ばら苑などの豊かな自然環境や、歴史・文化・芸術といった魅力に触れ、感じることでできるプログラムを展開していきたいと考えております。</p> <p>ばら苑の施設改修につきましては、いただいた御意見を参考に検討を進めてまいります。</p>	C
10	<p>生田緑地では、春に桜、秋にばら苑のバラが美しい。ばら苑施設も、かわさきフェアの会場として、使いやすいものに更新されると想像しているが、最近、国産木材を使った耐震耐火に優れたビルが建てられているので、そのような技術も紹介いただき、森の機能や脱炭素について、身近に感じる機会になればと期待している。</p>		
11	<p>開催に向けた準備について、樹木・草花等、数年をかけてその景観美を上げるものもあるかと思う。これから約3年の準備期間でそれらを進めていくことが大事だと思う。</p>	<p>かわさきフェアの開催に向けた樹木・草花等の事前準備につきましては、市内の各会場における取組の検討とあわせて、フェア開催前から、必要な準備を進めていきたいと考えております。</p> <p>具体的な緑化や景観形成の方法につきましては、いただいた御意見を参考に検討を進めてまいります。</p>	C
12	<p>既存の街路樹や公園緑地についても、それに相応しい樹形や管理方法で準備をしておくことも重要だと思う。</p>		
13	<p>街角の緑は、構造物と違い、完成が工事終了時にならない。緑化フェアまでの3年間で、計画的に会場及び駅周辺の緑化をしていかなければいけないと思う。緑化フェアのための予算を確保してやらないと市民がよいと思う緑化はつukれないと思う。</p>		

14	<p>飲食・物販について、「みどり」と聞いて興味がない人も、「食べ物、飲み物」と聞くと行ってみようかなと思う人が多いのではないかと。会場によっては、土・日・祝日等は、みどりの傍でこの部分を盛り上げてよいかと思う。</p>	<p>飲食・物販につきましては、P45の(8)飲食・物販に示すとおり、市内の生産者や飲食店等と連携・協力して、地域の農産物や特産品等を使用した川崎ならではの魅力ある飲食・物販サービスを提供していきたいと考えております。具体的な提供内容等については、いただいた御意見を参考に検討を進めてまいります。</p>	C
15	<p>都市空間での緑化技術の展示（壁面緑化や屋上緑化など）とあったが、開催期間中にその完成形を訪れる方に見ていただくためには、植栽の成長も考慮して、開催時期の前から準備が必要である。</p>	<p>出展展示における植栽の準備につきましては、かわさきフェアの開催時期に間に合うよう、いただいた御意見を参考に必要な準備を進めてまいります。</p>	C
16	<p>多摩川の緑を、フェアの会場の一つとしてアピールするとあり、市民の方に再認識してもらうチャンスだと思う。 沿線には何か所か多摩川緑地への入口があるが、車両等の進入路という位置づけのためか、アスファルト舗装と大きな車止めがあるくらいである。その入口にも、何か緑を予感させるような演出があればいいと思う。</p>	<p>かわさきフェアにおける、多摩川緑地での取組につきましては、本市としても、多摩川の持つ豊かな水やみどりといった魅力やそのポテンシャルを活かした取組を推進していきたいと考えております。 具体的な内容については、いただいた御意見を参考に、管理者である国土交通省と協議しながら、検討を進めてまいります。</p>	C
17	<p>緑化フェアを楽しみにしている。 川崎が、緑と水のまちになることは、昔からの市民の願いである。多くの方が緑に親しんで、健康で笑顔になるように期待している。 子どもたちも、絵画や文章で関心を表現できるとよい。何より多くの方が直に緑に触れる機会があるとよい。未来に向けて、身近な植物だけでなく、カーボンファイバーや木造ビルの話など、取り上げていただきたい。 また、古来から日本にある、竹や麻が見直されて、これからを切り拓く素材として研究が進んでいるので、どこかで紹介していただきたい。</p>	<p>かわさきフェアにおける出展展示等のプログラムにつきましては、P42の(2)出展展示に示すとおり、多様なみどりと、環境、教育、文化、歴史、農、福祉、先進技術等の各分野と連携して、川崎の多様性あふれる魅力や強みを感じる機会を創出するとともに、身近なみどりを体感し、暮らしの中にみどりを取り入れる楽しさや心地よさを感じる展示等のプログラムを展開していきたいと考えております。 具体的な内容については、いただいた御意見を参考に検討を進めてまいります。</p>	C

18	<p>よく生田緑地を利用するが、休日は駐車場が混んでいて、車を停めるのに時間がかかるので、かわさきフェア開催時は臨時駐車場等確保してほしい。</p>	<p>生田緑地における、かわさきフェア開催中の交通対策につきましては、P45の(7)交通輸送に示すとおり、公共交通機関の利用促進とあわせて、来園者の増加等による駐車場及び周辺への影響を踏まえて、必要な交通対策を検討することとしており、具体的な手段については、いただいた御意見を参考に検討を進めてまいります。</p>	C
19	<p>全国都市緑化かわさきフェアの基本・実施計画策定にあたっては、都市と自然のつながりをテーマにした思考で次々に新しい空間を生みだし、国内外で高い評価を得ている建築家の藤本壮介さんをアドバイザーに迎えるとよいと思う。</p> <p>また、落合陽一さんが、12月13日に行われたTokyo Marunouchi Innovation Platform 主催の都市とイノベーションをテーマとしたイベントで、公害を克服した都市に興味があると仰っていたので、フェアに関与して頂くべくアプローチされてみるといいと思う</p>	<p>かわさきフェアの基本・実施計画の策定に向けた推進体制につきましては、P46の6推進体制に示すとおり、令和4年度に、主催者、学識経験者、各分野の関係団体等により構成する実行委員会の設置を予定しております。構成員の選任にあたっては、フェアの目的や開催の意義を踏まえて検討を進めてまいります。</p>	D

3 その他の意見（2件）			
1	<p>武蔵小杉駅周辺から等々力緑地までのエリアにおいて、国道409号の小杉御殿町工区の区間と丸子中山茅ヶ崎線の小杉御殿工区により、新設バイパス道路が出来る区間の既存道路は狭く、歩道が未整備の道に多くの自動車や大型車両、路線バスが行き交う中で、多くの歩行者や自転車が交錯して非常に危険な状態である。直ちに行政代執行を行い、用地を取得して整備する必要がある。</p> <p>さらに、小杉御殿町工区については、早期完成に伴う通行環境整備は当然のこととして、街路樹などによる緑化を行い、等々力緑地に武蔵小杉駅から向かう市内外からの来訪者が魅了される、快適で美しく風格のある景観のまちなみを創出することを行ってほしい。</p>	<p>本市の幹線道路の整備につきましては、効率的・効果的な道路整備を推進していくため、平成28年度から令和7年度までの10年間（前期6年、後期4年）を計画期間とした「第2次川崎市道路整備プログラム」を定め、客観的な指標などを用いて整備効果の高い箇所を選定し、取組を進めているところです。</p> <p>現在取りまとめている第2次川崎市道路整備プログラム後期（令和4年度から令和7年度）の取組（案）におきましては、より一層の事業の重点化を図るため、後期における新規工区の事業着手を先送りにして、現在、事業中の工区へ予算を集中的に投資するとともに、土地収用等の積極的な活用を図り、早期完成を目指すこととしております。</p>	E
2	<p>まちのみどりの中でも、駅周辺の中心道路や幹線道路沿いなどの多くの人の目に触れる道路の緑は、「地域愛」を育む上でも、川崎市に対するイメージ形成の上でも重要だが、都市計画道路が整備中又は未整備の区間は、殺伐とした沿道景観となってしまう。</p> <p>事業中の区間は、用地取得や整備のピッチを上げて、開催年である2024年度までに完成させ、また、未整備の区間も、計画区間の早期の事業着手が展望できる状況になるよう、全国都市緑化かわさきフェア開催が、都市計画道路整備の加速化の契機になるよう事業を推進してほしい。</p>	<p>今後も引き続き、安全、安心、快適な交通環境の構築に向けた幹線道路の整備を推進してまいります。</p>	